



Sun Java Enterprise System 5 リ リースノート (Windows 版)



Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No: 820-1781
2007 年 2 月

本書で説明する製品で使用されている技術に関連した知的所有権は、Sun Microsystems, Inc. に帰属します。特に、制限を受けることなく、この知的所有権には、米国特許、および米国をはじめとする他の国々で申請中の特許が含まれています。

U.S. Government Rights – Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本製品には、サードパーティーが開発した技術が含まれている場合があります。

本製品の一部は Berkeley BSD システムより派生したもので、カリフォルニア大学よりライセンスを受けています。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびにほかの国における登録商標です。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴマーク、Solaris のロゴマーク、Java Coffee Cup のロゴマーク、docs.sun.com、Java、Solaris は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。Sun のロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPEN LOOK および SunTM Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカルユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK GUI を実装するか、または米国 Sun Microsystems 社の書面によるライセンス契約に従う米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

この製品は、米国の輸出規制に関する法規の適用および管理下にあり、また、米国以外の国の輸出および輸入規制に関する法規の制限を受ける場合があります。核、ミサイル、生物化学兵器もしくは原子力船に関連した使用またはかかる使用者への提供は、直接的にも間接的にも、禁止されています。このソフトウェアを、米国の輸出禁止国へ輸出または再輸出すること、および米国輸出制限対象リスト(輸出が禁止されている個人リスト、特別に指定された国籍者リストを含む)に指定された、法人、または団体に輸出または再輸出することは一切禁止されています。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われないものとします。

目次

1 Sun Java Enterprise System 5 リリースノート (Windows 版)	5
コンポーネントのリリースノート	5
このリリースで追加された新機能	6
削除された機能	6
ハードウェアとソフトウェアのプラットフォーム情報	7
Java ES 5 でサポートされるオペレーティングシステム	7
コンポーネント別のディスク容量と RAM の要件	7
Java ES 5 でサポートされる Web ブラウザ	8
Java 2 Platform Standard Edition の要件	8
既知の問題と制限事項	9
パスワードとルートサフィックスで単一引用符を使用できない	9
Access Manager 2005Q1 と SSL 対応 Directory Server のインストール	9
Access Manager SDK 設定が原因で Web サーバー起動障害のエラーが発生する (6293225)	9
eval config モードで設定が正常に完了したあと Web Server サービスが開始され ない (6472285)	10
eval config モードで設定が正常に完了したあと Web Proxy Server サービスが開始 されない (6472289)	10
DHCP で逆検索が設定されていないと PS-SRA、FTP、および Netlet が機能しない (6472391)	10
Application Server Suite で HADB インスタンスが起動しない (6480152)	10
インストーラが Sun Java Web Console の既存インストールを検出しない (6487548)	10
1G バイトの RAM メモリーを備えるマシン上への Java ES 5 のインストールが原因 不明で失敗する (6496578)	11
Windows ネイティブ: Windows System32 の DLL が Java ES の DLL と衝突する (6496600)	11
Windows XP SP2 OS へのインストール後、ユーザーが Web Console にログインで きない (6498436)	12
「インストール後に手動で設定」オプションを指定した Java ES 5 Windows	

Upgradeで「Message Queue」と「高可用性」は作成されるが「Application Server」プログラムグループが作成されない (6500958)	12
「アンインストール完了」パネルの「アンインストールログの表示」ボタンでログファイルが表示されない (6505473)	12
再配布可能なファイル	13
障害を持つユーザー向けのアクセシビリティ機能	13
マニュアル、サポート、およびトレーニング	13
サードパーティーのWebサイト	13
コメントをお待ちしております	14

Sun Java Enterprise System 5 リリースノート (Windows 版)

このリリースノート (Windows 版) には、Sun™ Java™ Enterprise System (Java ES) 5 の重要な情報が含まれています。本書は、<http://docs.sun.com/coll/1657.1> から参照できます。

インストールと操作についての全体的な理解を深めるため、Java ES の使用を開始する前にこのリリースノートをお読みください。使用する Java ES コンポーネントについては、各コンポーネントレベルのリリースノートも参照してください。本書では、Java ES 5 に影響する重要な問題について説明し、コンポーネントレベルのリリースノートでは、アプリケーションの問題の詳細を説明しています。入手可能なコンポーネント別のリリースノートの一覧については、5 ページの「コンポーネントのリリースノート」を参照してください。

このリリースノート (Windows 版) の内容は、次のとおりです。

- 5 ページの「コンポーネントのリリースノート」
- 6 ページの「このリリースで追加された新機能」
- 6 ページの「削除された機能」
- 7 ページの「ハードウェアとソフトウェアのプラットフォーム情報」
- 9 ページの「既知の問題と制限事項」
- 13 ページの「再配布可能なファイル」
- 13 ページの「障害を持つユーザー向けのアクセシビリティ機能」
- 13 ページの「マニュアル、サポート、およびトレーニング」

コンポーネントのリリースノート

すべてのコンポーネント固有の情報は、各コンポーネントのリリースノートに記載されています。次のコンポーネントのリリースノートは、<http://docs.sun.com/coll/1315.2> から参照できます。

- Access Manager – 『Sun Java System Access Manager 7.1 リリースノート (Windows 版)』

- Application Server – 『Sun Java System Application Server Enterprise Edition 8.2 リリースノート (Windows 版)』
- Directory Server および Directory Proxy Server – 『Sun Java System Directory Server Enterprise Edition 6.0 リリースノート』
- Message Queue – 『Sun Java System Message Queue 3.7 UR1 リリースノート (Windows 版)』
- Portal Server – 『Sun Java System Portal Server 7.1 リリースノート (Windows 版)』
- Service Registry – 『Service Registry 3.1 リリースノート (Windows 版)』
- Web Proxy Server – 『Sun Java System Web Proxy Server 4.0.4 リリースノート (Windows 版)』
- Web Server – 『Sun Java System Web Server 7.0 リリースノート (Windows 版)』

このリリースで追加された新機能

次のリストは、強化および追加された主な機能やコンポーネントを要約したものです。詳細は、Java ES の個別コンポーネントのリリースノートを参照してください。

- サブコンポーネントとして Directory Proxy Server の新しいメジャーバージョンを含む、Directory Server の新しいメジャーバージョン
- Portal Server の新しいメジャーバージョン
- Web Server の新しいメジャーバージョン
- Java DB (Access Manager が依存)
- システム全体の監視機能の向上と監視コンソールの追加

削除された機能

Sun Microsystems では、Sun Java Enterprise System の権利からコミュニケーション製品を除外しました。

今回の Java ES 5 release から、コミュニケーション製品は Sun Java Communications Suite の一部として、または個別の製品として入手可能になります。コミュニケーション製品は、今後は Java Enterprise System インストーラを実行してもインストールされなくなります。

該当するコミュニケーション製品は次のとおりです。

- Sun Java System Messaging Server
- Sun Java System Calendar Server
- Sun Java System Instant Messaging
- Sun Java System Communications Express

- Sun Java System Directory Preparation Tool
- Sun Java System Communications Services Delegated Administrator

この権利の変更は、現在出荷されている Java Enterprise System 2005Q4 のコミュニケーション製品には影響しません。コミュニケーション製品をすでにインストールしている場合は、現在の権利に変更はありません。

ハードウェアとソフトウェアのプラットフォーム情報

Java ES 5 でサポートされるオペレーティングシステム

Java ES 5 では、次のオペレーティングシステムをサポートします。

- Windows 2000 Advanced Server SP4
- Windows XP SP2
- Windows 2003 Enterprise Server SP1 (32 ビット)
- Windows 2003 Enterprise Server SP1 (64 ビット)

コンポーネント別のディスク容量と RAM の要件

次の表に、Java ES 5 を構成する各種コンポーネントのディスクインストールおよび RAM 要件を示します。

コンポーネント	インストールに必要な最小ディスク容量	インストールに必要な RAM 要件
Access Manager	Access Manager と関連アプリケーション用に最小 512M バイトのディスク容量。1G バイトを推奨。	初期テスト用に 512M バイトの RAM。スレッド、Access Manager SDK、HTTP サーバー、およびその他の内部用に 1G バイト。
Application Server	Sun Java System Studio を使用する場合: 最小 512M バイトのディスク容量。1G バイトを推奨。	最小 512M バイトの RAM。1G バイトを推奨。
Message Queue	100M バイトのディスク容量。	256M バイトの RAM
Portal Server、Portal Server SRA	1G バイトのディスク容量。	最小 1G バイトの RAM。2G バイトを推奨。
Service Registry	512M バイト	最小 512M バイトの RAM。1G バイトを推奨。

コンポーネント	インストールに必要な最小ディスク容量	インストールに必要な RAM 要件
Web Proxy Server	512M バイトのディスク容量。	512M バイトの RAM
Web Server	最小 512M バイトのディスク容量。1G バイトを推奨。	最小 512M バイトの RAM。1G バイトを推奨。
Directory Proxy Server	300M バイトのディスク容量。 評価目的の場合、デフォルト構成の使用時において、サーバーログを保持するための追加ディスク容量を 1 サーバーインスタンスにつき 2G バイト確保すれば十分です。	1 ~ 2G バイト (評価目的の場合)。 4G バイト以上 (本稼働サーバーの場合)。
Directory Server	300M バイトのディスク容量。 評価目的の場合、サーバーソフトウェア用にさらに 2G バイトのディスク容量を用意すれば十分です。	1 ~ 2G バイト (評価目的の場合)。 4G バイト以上 (本稼働サーバーの場合)。

ディスク容量および RAM 要件の詳細は、各コンポーネントのリリースノートを参照してください。

Java ES 5 でサポートされる Web ブラウザ

Java ES 5 コンポーネントで提供される Web ベースの管理インタフェースは、少なくとも次の Web ブラウザをサポートします。

- Firefox 1.0.7 (Windows 2000 および XP)
- Mozilla 1.7.12 (Windows 2000 および XP)
- Netscape™ Communicator 8.0.4 (Windows 2000 および XP)
- Microsoft Internet Explorer 6.0 SP1 (Windows 2000)
- Microsoft Internet Explorer 6.0 SP2 (Windows XP)

Java ES 5 コンポーネントで提供されるエンドユーザー Web インタフェースがサポートする Web ブラウザについては、そのインタフェースを提供するコンポーネントのリリースノートを参照してください。Java ES 5 コンポーネントのリリースノートは、<http://docs.sun.com/coll/1315.2> から入手できます。

Java 2 Platform Standard Edition の要件

Java Enterprise System は、付属の Java 2 Platform Standard Edition (J2SE™ platform) 1.5 update 7 での動作が保証されています。

既知の問題と制限事項

ここでは、このリリースの既知の問題について説明します。

パスワードとルートサフィックスで単一引用符を使用できない

Access Manager は、`amadmin` 用などのパスワードおよび Directory Server ルートサフィックスでの単一引用符 (`\q`) をサポートしません。バックスラッシュ (`\\`) はサポートします。

Access Manager 2005Q1 と SSL 対応 Directory Server のインストール

Directory Server がインストール済みで SSL が有効な場合、その Directory Server は SSL 以外の (LDAP) ポートでも待機する必要があります。Access Manager は、この LDAP ポートを使用するように設定する必要があります。そうしなければ、Access Manager のインストールが失敗します。

LDAP ポートを使用するように Access Manager を設定したあとは、ユーザーがその LDAP ポートを無効にしても問題はありません。

Access Manager SDK 設定が原因で Web サーバー起動障害のエラーが発生する (6293225)

Access Manager の SDK 設定で、`AMConfig.properties` ファイルに間違っただけの情報が含まれているため、一連の Web サーバー起動障害が発生します。次の変数の情報が正しくありません。

- `com.iplanet.am.directory.host`
- `com.iplanet.am.server.host`
- `com.iplanet.am.console.host`
- `com.iplanet.am.profile.host`
- `com.iplanet.am.naming.url`
- `com.iplanet.am.notification.url`

解決方法: Access Manager SDK が Web Server とともにインストールされているノード B で、`webserver-instance-dir/config/server.xml` ファイルを修正して、必要な Access Manager JAR ファイルをクラスパスに追加します。

eval config モードで設定が正常に完了したあと **Web Server** サービスが開始されない (6472285)

Windows オペレーティングシステムに eval config モードで Web Server をインストールしたあと、Web Server サービスが自動的に開始されません。

回避方法: Web Server サービスを手動で開始します。

eval config モードで設定が正常に完了したあと **Web Proxy Server** サービスが開始されない (6472289)

Windows オペレーティングシステムに eval config モードで Web Server をインストールしたあと、Web Proxy Server サービスが自動的に開始されません。

回避方法: Web Proxy Server サービスを手動で開始します。

DHCP で逆検索が設定されていないと **PS-SRA**、 **FTP**、および **Netlet** が機能しない (6472391)

Netlet で IP アドレスを使用する場合、DHCP サーバーで特定のホストの逆検索エントリが設定されていないと、そのホストに関連する操作を実行できません。

たとえば、nslookup.exe ipaddress がホスト名を返すことに失敗する場合、それらの IP アドレスに対する Netlet 操作は実行できません。

回避方法: IP アドレスの代わりにホスト名を使用します。

Application Server Suite で **HADB** インスタンスが起 動しない (6480152)

Windows マシンがネットワークに接続されていないと、HADB インスタンスは起動しません。

回避方法: Windows マシンをネットワークに接続します。

インストーラが **Sun Java Web Console** の既存イン ストールを検出しない (6487548)

回避方法: 次に示す回避方法のどれか 1 つを選択してください。

- Java ES 5 のインストールを続行する前に、Windows マシンにすでにインストールされているバージョンの Sun Java Web Console を削除します。
- 以前のバージョンの Sun Java Web Console に登録したアプリケーションを引き続き使用するには、新しいバージョンの Web Console に登録し直します。

1G バイトの RAM メモリーを備えるマシン上への Java ES 5 のインストールが原因不明で失敗する (6496578)

Windows プラットフォームで、すべてを「インストール時に自動的に設定」モードでインストールすると、メモリーの少ないマシンでの設定後の作業段階で原因不明の失敗が発生します。

回避方法: 次に示す回避方法のどれか 1 つを選択してください。

- Windows OS の仮想メモリー設定を最適化します。
- Java ES インストーラを起動する前に、不要なプログラムやサービスをすべて停止して、RAM の空き容量を最大化します。
- 「カスタム」オプションを使用して、インストールする製品を選択します。

Windows ネイティブ: Windows System32 の DLL が Java ES の DLL と衝突する (6496600)

この問題は、libnspr4.dll、nss3、smime など特定の DLL が Windows system32 フォルダに存在する場合に発生します。

これらの DLL が、install-dir/share/lib にインストールされる Java ES バージョンの DLL と衝突するため、Java ES サーバー群の正常な動作が妨げられます。

回避方法:

Java ES サーバーで正しいバージョンの DLL が使用されるように、system32 フォルダ内の該当する DLL の名前を変更します。

注 - DLL の名前を変更すると、system32 フォルダにそれらの DLL をインストールした旧バージョンのアプリケーションが機能しなくなる可能性があります。

Windows XP SP2 OS へのインストール後、ユーザーが Web Console にログインできない (6498436)

回避方法:

Windows XP Professional でゲストアカウントを無効にする必要があります。

認証が成功するためには、レジストリキー

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Lsa\ForceGuest を 0 に設定する必要があります。

「インストール後に手動で設定」オプションを指定した Java ES 5 Windows Upgrade で「Message Queue」と「高可用性」は作成されるが「Application Server」プログラムグループが作成されない (6500958)

「インストール後に手動で設定」モードで製品コンポーネントをインストールまたはアップグレードすると、製品のショートカットが、その製品を手動で設定するまで作成されません。

注 - Message Queue はこの問題の影響を受けません。

回避方法: ありません。

「アンインストール完了」パネルの「アンインストールログの表示」ボタンでログファイルが表示されない (6505473)

インストールをリモートセッションで実行すると、インストーラのログが temp ディレクトリに保存されます。

インストールまたはアンインストール中にシステムのレポートが発生すると、temp は削除されます。そのため、「アンインストールログの表示」ボタンをクリックしてもログファイルが表示されません。

回避方法: ありません。

再配布可能なファイル

Sun Java Enterprise System 5 には、再配布可能なファイルは含まれていません。

障害を持つユーザー向けのアクセシビリティ機能

このメディアの出版以降にリリースされたアクセシビリティ機能を入手するには、米国リハビリテーション法 508 条に関する製品評価資料を Sun に請求し、その内容を確認して、どのバージョンが、アクセシビリティに対応したソリューションを配備するためにもっとも適しているかを特定してください。最新バージョンのアプリケーションは、<http://sun.com/software/javaenterprisesystem/get.html> で入手できます。

アクセシビリティへの Sun の取り組みについては、<http://sun.com/access> をご覧ください。

マニュアル、サポート、およびトレーニング

Sun の Web サイトでは次のような付加的な情報も用意しています。

- マニュアル (<http://www.sun.com/documentation/>)
- サポート (<http://www.sun.com/support/>)
- トレーニング (<http://www.sun.com/training/>)

サードパーティーの Web サイト

このリリースノートで紹介されているサードパーティーの URL を参照すると、追加および関連情報を入手できます。

注-Sun は、このリリースノートに記載されたサードパーティーの Web サイトの有効性および有用性に関して責任を負いません。Sun は、これらのサイトまたはリソースで利用可能な内容、広告、製品、他の資料に関し、それらを保証することも、責任や義務を負うこともありません。Sun は、このようなサイトまたはリソースで得られるあらゆるコンテンツ、製品、またはサービスによって生じる、または使用に関連して生じる、または信頼することによって生じる、または生じたと主張される、いかなる損害または損失についても責任または義務を負いません。

コメントをお待ちしております

Sun はマニュアル類の改善に努めるため、お客様からのコメントやご意見をお待ちしております。コメントをお寄せいただく場合は、<http://docs.sun.com> にアクセスし、「コメントの送信」をクリックしてください。オンラインフォームには、マニュアルのタイトルとパート番号を記載してください。パート番号は、マニュアルのタイトルページまたはマニュアルの URL に記載されている 7 桁または 9 桁の番号です。たとえば、このマニュアルのパート番号は 820-1781 です。